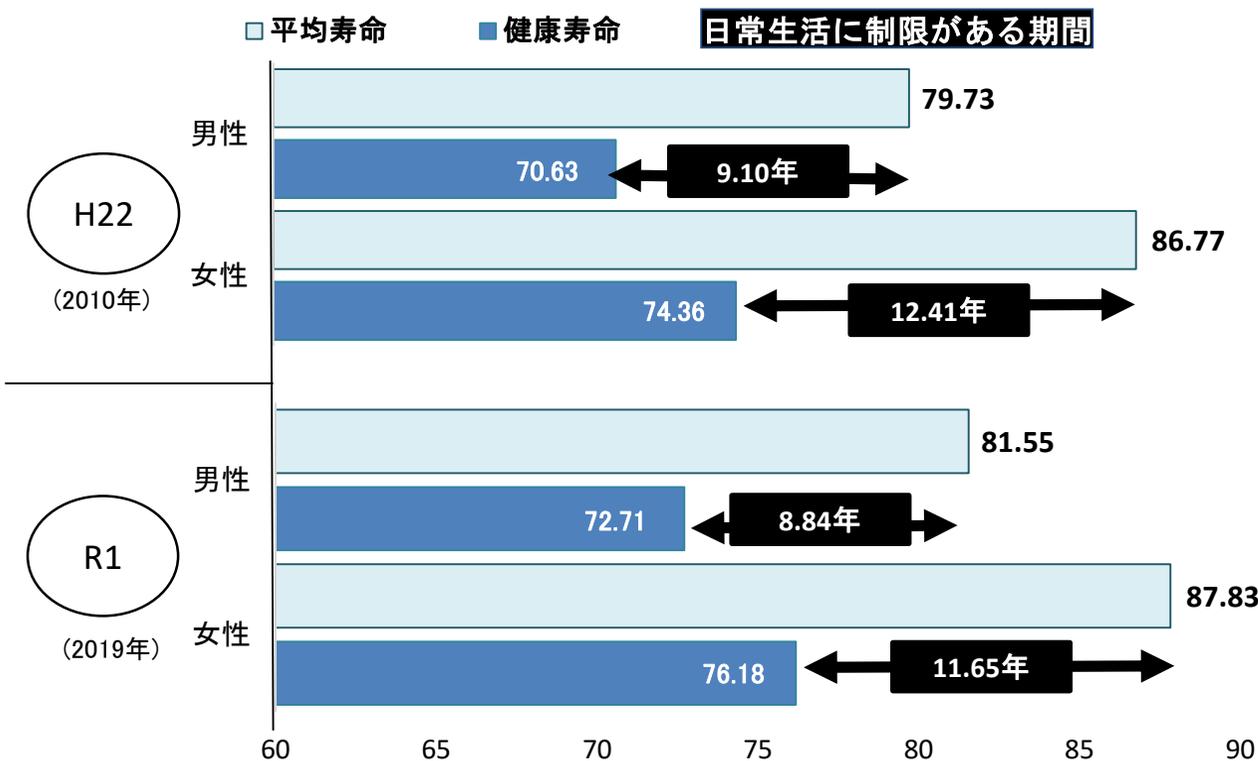


富山県における循環器病の現状及び 主な取組みについて

富山県の平均寿命と健康寿命

- 平均寿命及び健康寿命は年々延伸しており、**平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加**となっている。
- 2019(令和元)年の「健康寿命」において、計画策定時と比べ、男性は+2.08歳、女性は+1.82歳となっている。一方で、「平均寿命」との間に男性で約9年、女性で約12年の差がある。

【富山県の平均寿命と健康寿命の差】



【平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加】(歳)

H22からの増加分	男性	女性
健康寿命	+2.08	+1.82
平均寿命	+1.82	+1.06

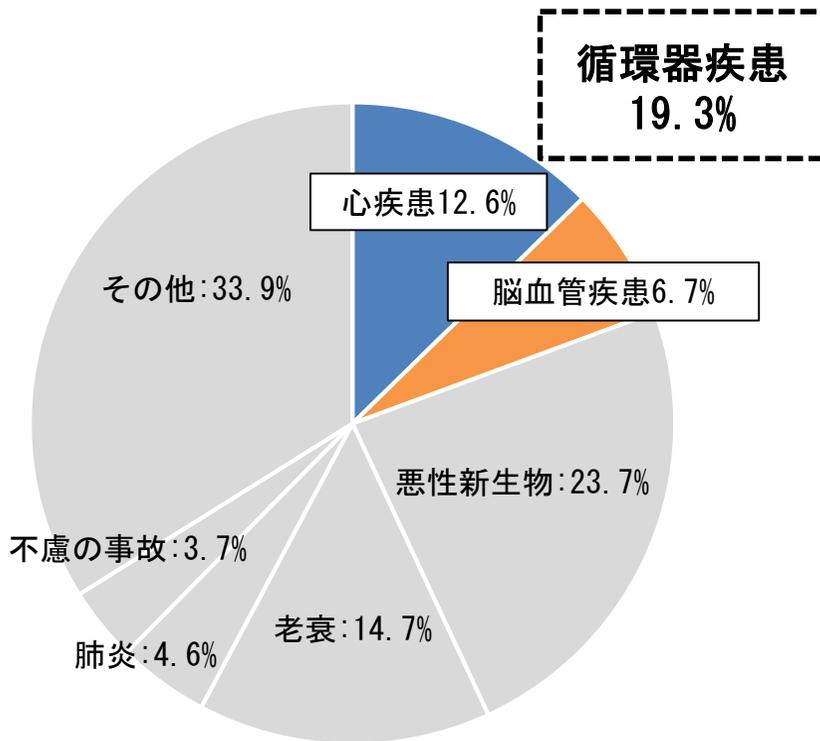
【参考】健康寿命と平均寿命の全国順位

2019年(R1)	男性	女性
健康寿命	19位	10位
平均寿命	17位	12位

富山県の死亡原因における循環器病の割合

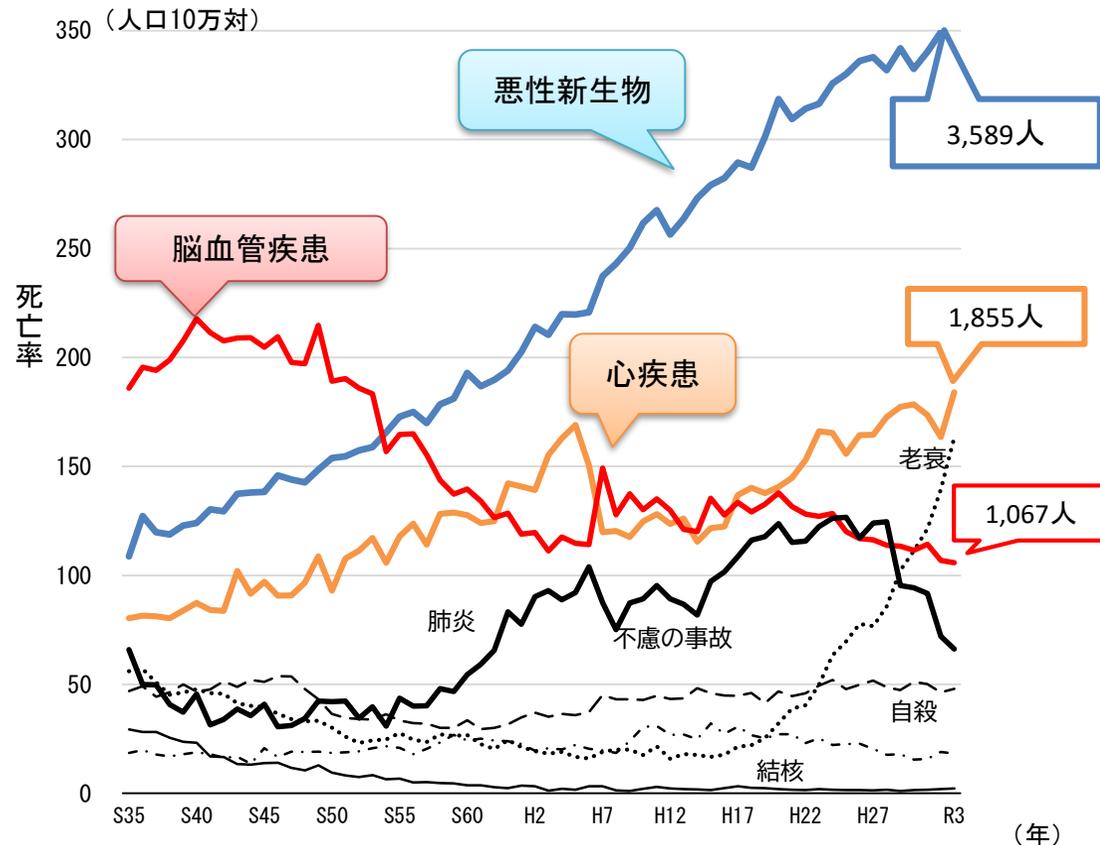
○心疾患及び脳血管疾患は、富山県におけ主な死亡原因である。
○令和5年人口動態調査によると、**心疾患は12.6%**と死亡原因の**第3位**、**脳血管疾患は6.7%**で**第4位**となっており、両者を合わせた**循環器疾患は19.3%**で**悪性新生物(がん)に次ぐ死亡原因**となっている。

令和5年の富山県の死亡原因内訳(%)



出典：令和5年人口動態統計(厚生労働省)

富山県における死亡率の推移(主な死因別)



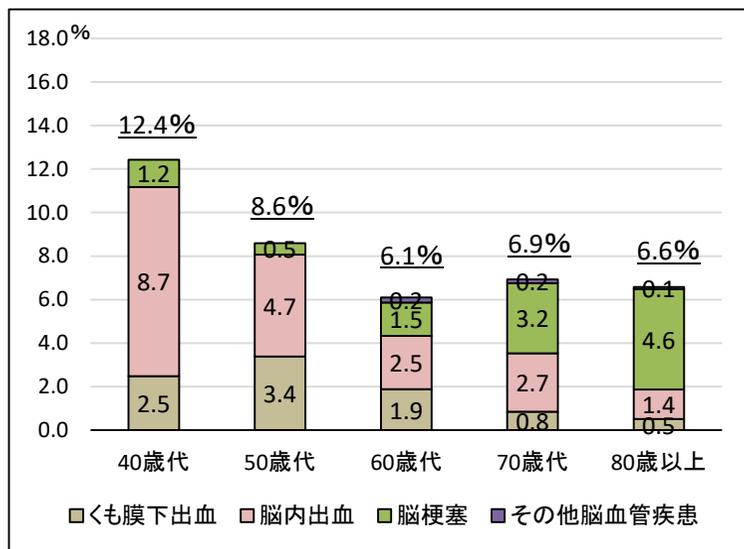
出典：人口動態統計(厚生労働省) 4

富山県の年代別死亡原因に占める循環器病の割合

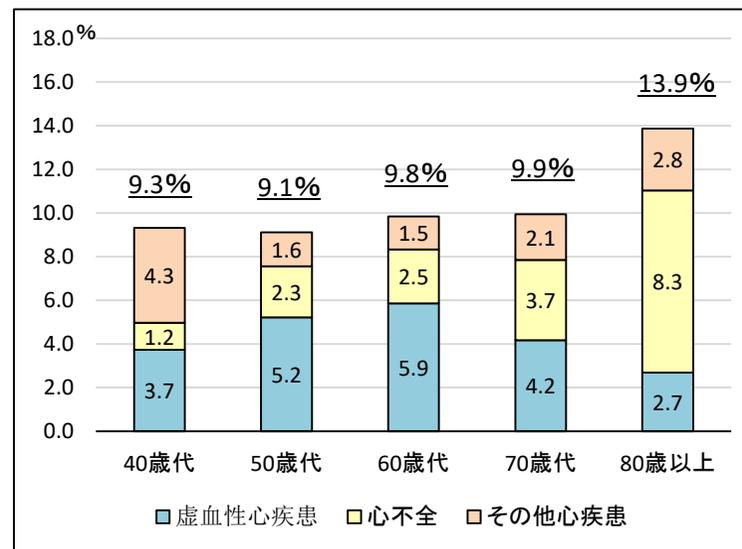
○脳血管疾患は、年代が上がるごとに死亡原因に占める割合は減少している。死亡者のうち、脳内出血が占める割合は年代が上がるごとに減少し、脳梗塞が占める割合は増加している。

○心疾患は、年代が上がるごとに死亡原因に占める割合が増加している。特に、心不全の占める割合が増加している。

各年代の死亡数に占める脳血管疾患の割合



各年代の死亡数に占める心疾患の割合



各年代別死亡数（人）

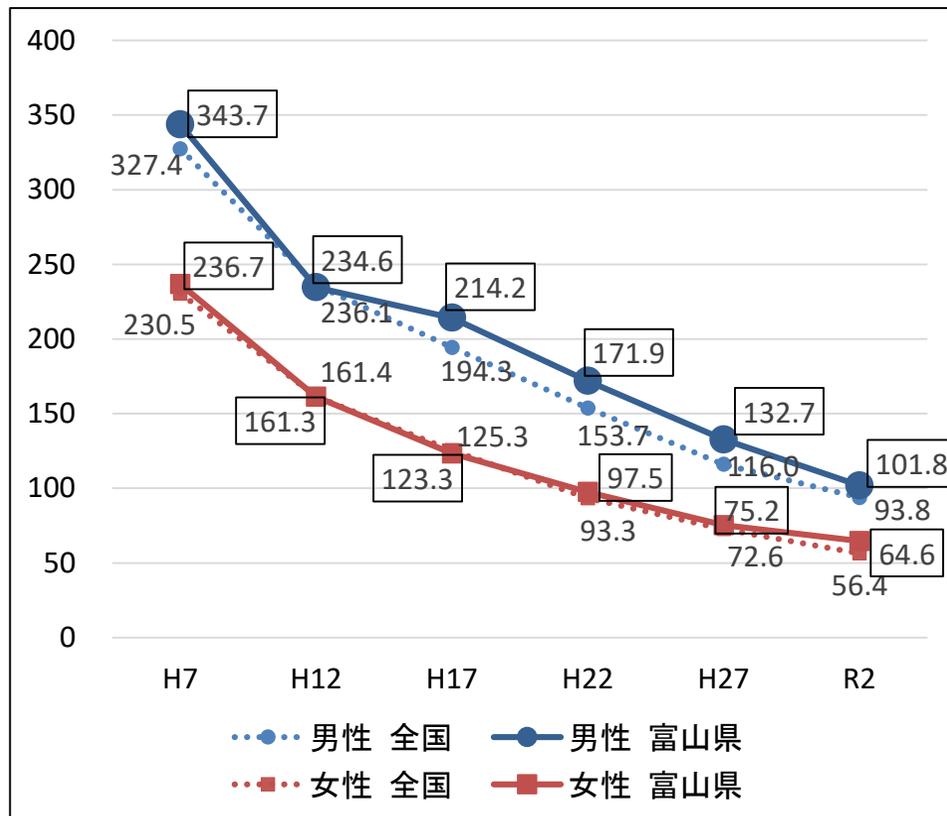
出典：令和5年人口動態統計（厚生労働省）

年代	総死亡数	脳血管疾患				心疾患				
		くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	その他脳血管疾患	虚血性心疾患	心不全	その他心疾患		
全年齢	15,095	1,013	114	279	603	17	1,908	483	1,035	390
40代未満	133	5	2	3	0	0	3	0	3	0
40代	161	20	4	14	2	0	15	6	2	7
50代	384	33	13	18	2	0	35	20	9	6
60代	853	52	16	21	13	2	84	50	21	13
70代	2,856	198	24	77	92	5	284	119	105	60
80代以上	10,725	705	55	146	494	10	1,487	288	895	304

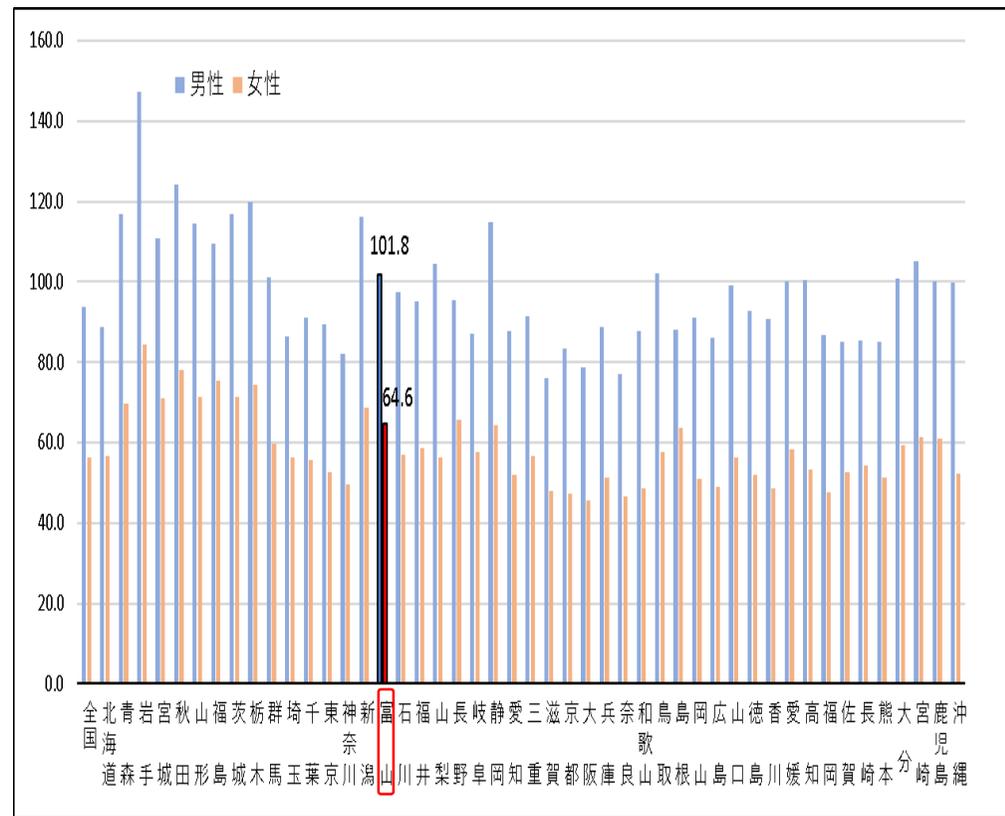
富山県の脳血管疾患の年齢調整死亡率

○脳血管疾患の年齢調整死亡率は年々減少しているが、**男性は全国93.8に対し101.8（全国14位）、女性は全国56.4に対し64.6（全国11位）**と、**男女ともに全国を上回っている。**

年齢調整死亡率の推移(人口10万対)

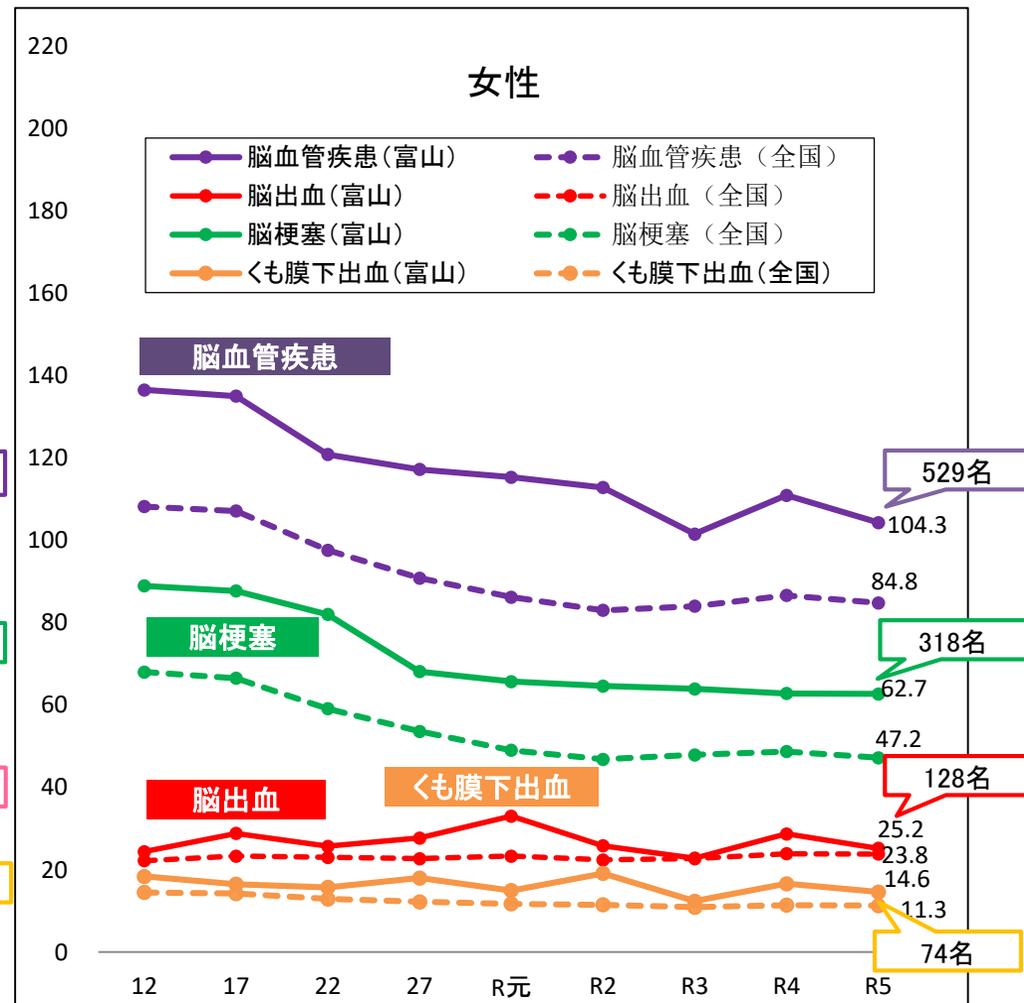
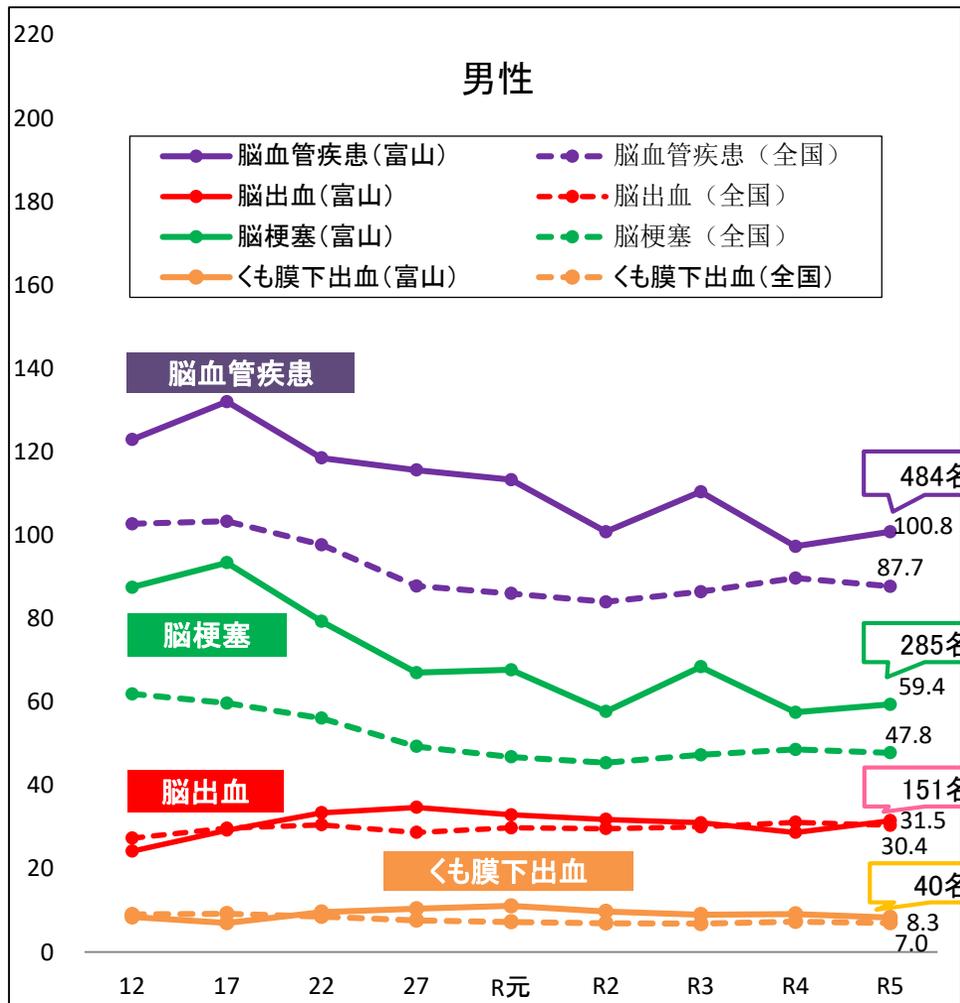


都道府県男女別年齢調整死亡率(人口10万対)



富山県の主な脳血管疾患の死亡率の推移（人口10万対）

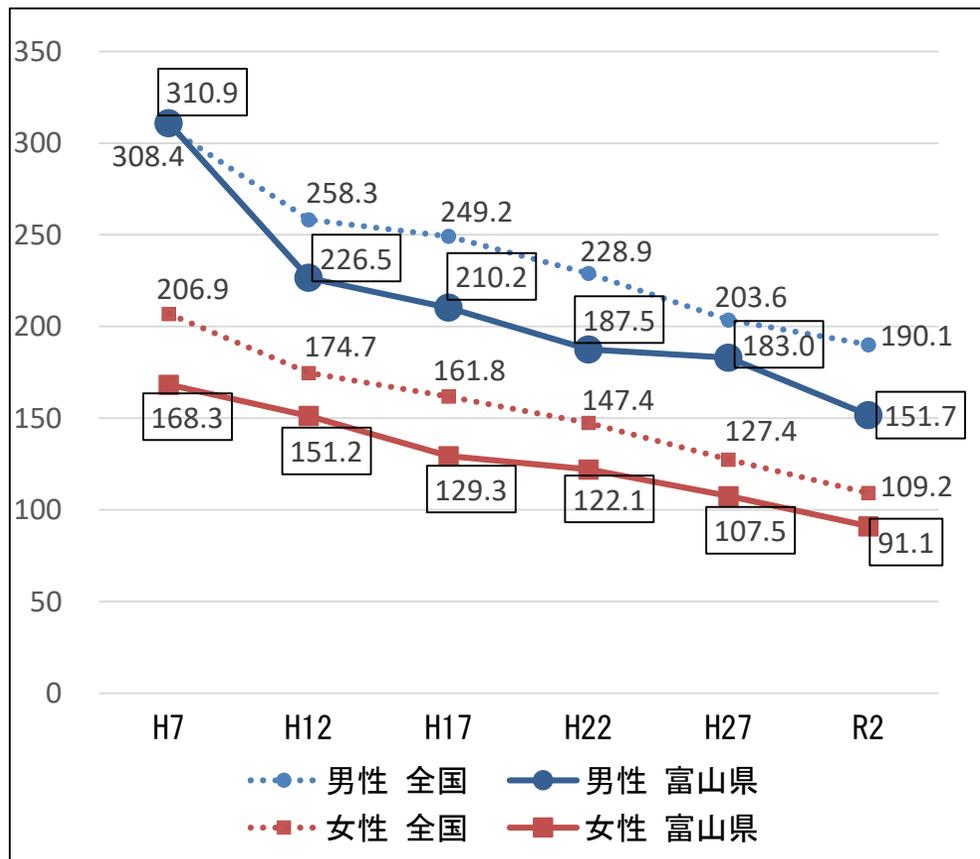
○脳血管疾患の死亡率は（人口10万対）男女ともに減少しているが、全国よりも上回っている。



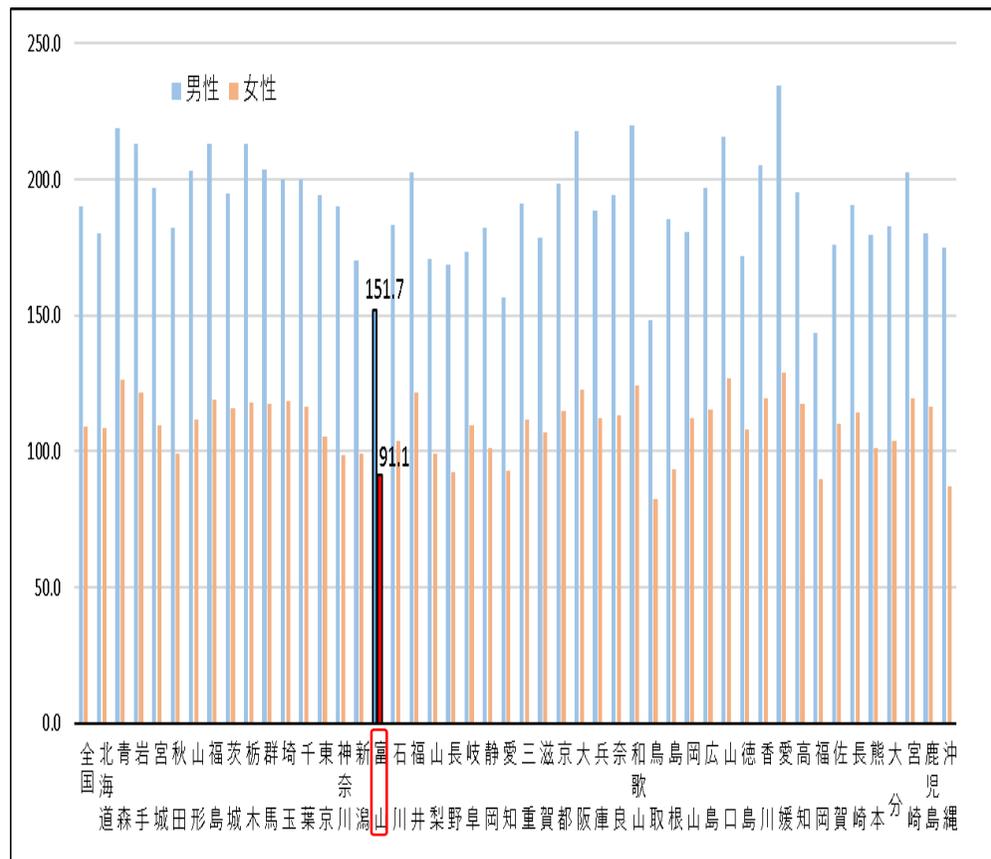
富山県の心疾患の年齢調整死亡率

○心疾患の年齢調整死亡率は、男性は全国190.1に対し**151.7(全国45位)**、女性は全国109.2に対し**91.1(全国44位)**と、男女ともに全国を下回っている。

年齢調整死亡率の推移(人口10万対)

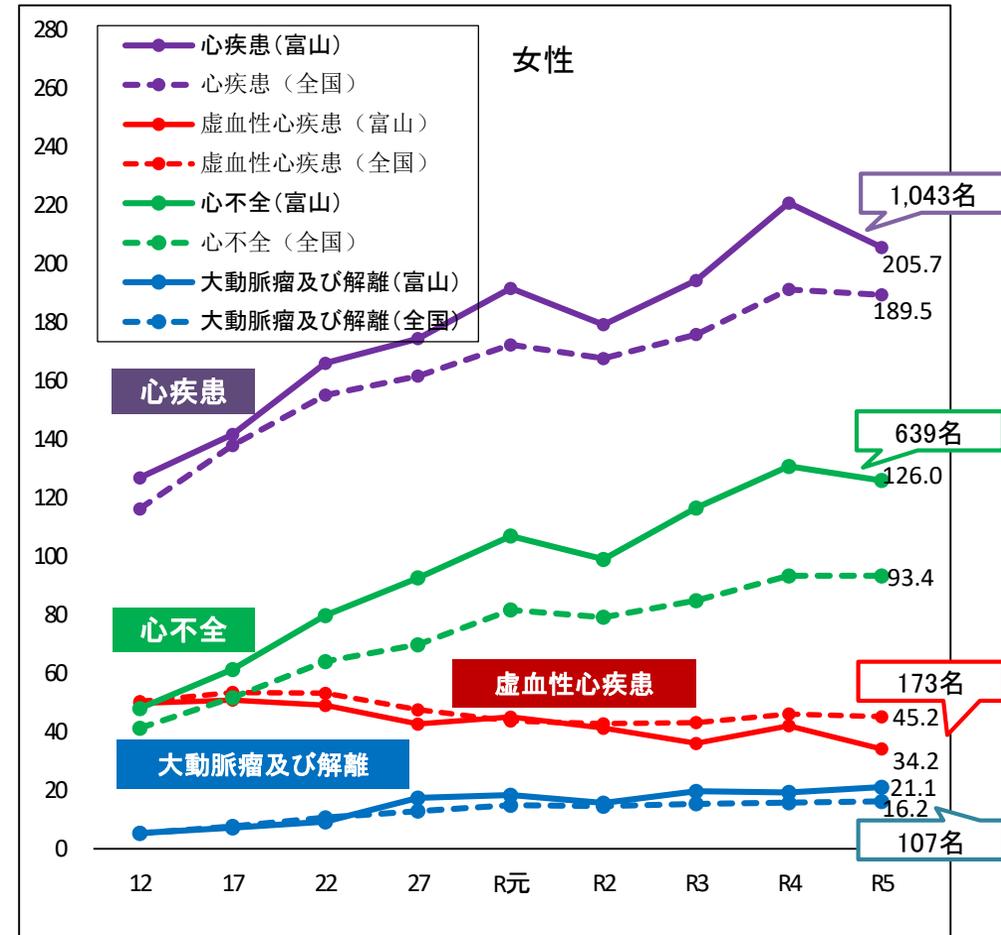
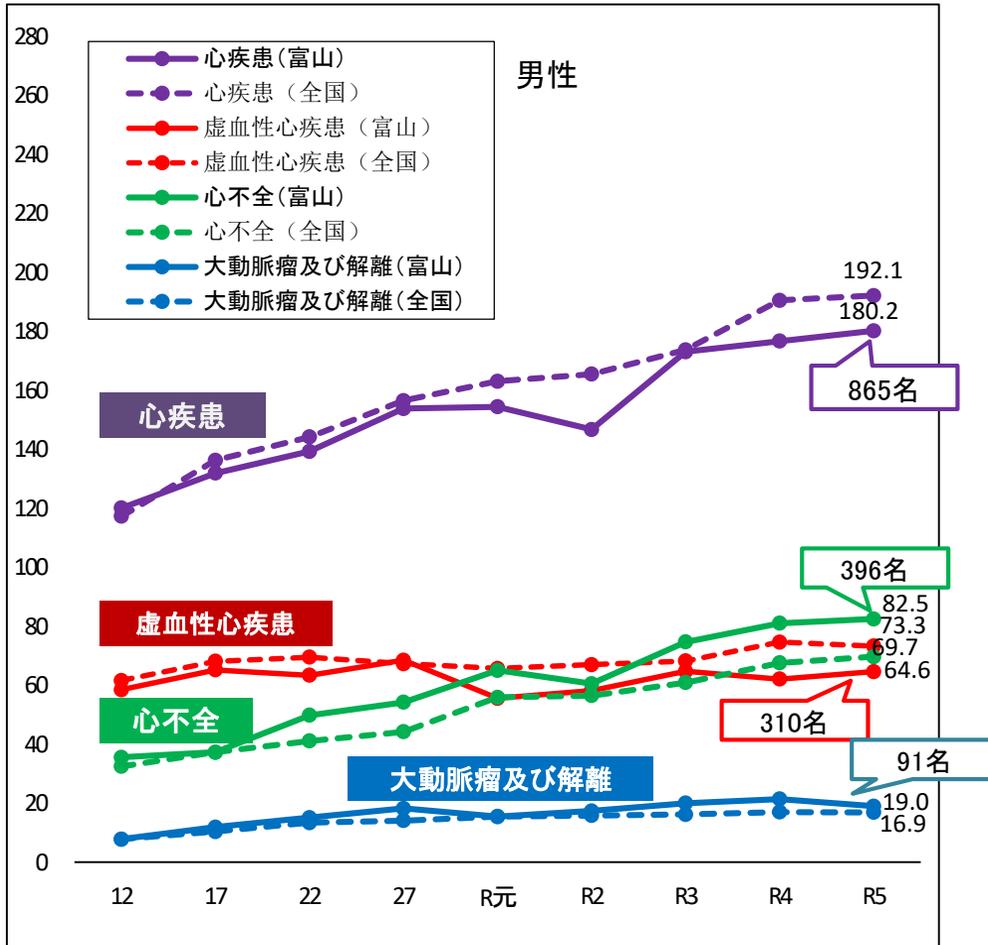


都道府県男女別年齢調整死亡率(人口10万対)



富山県の主な心疾患の死亡率の推移（人口10万対）

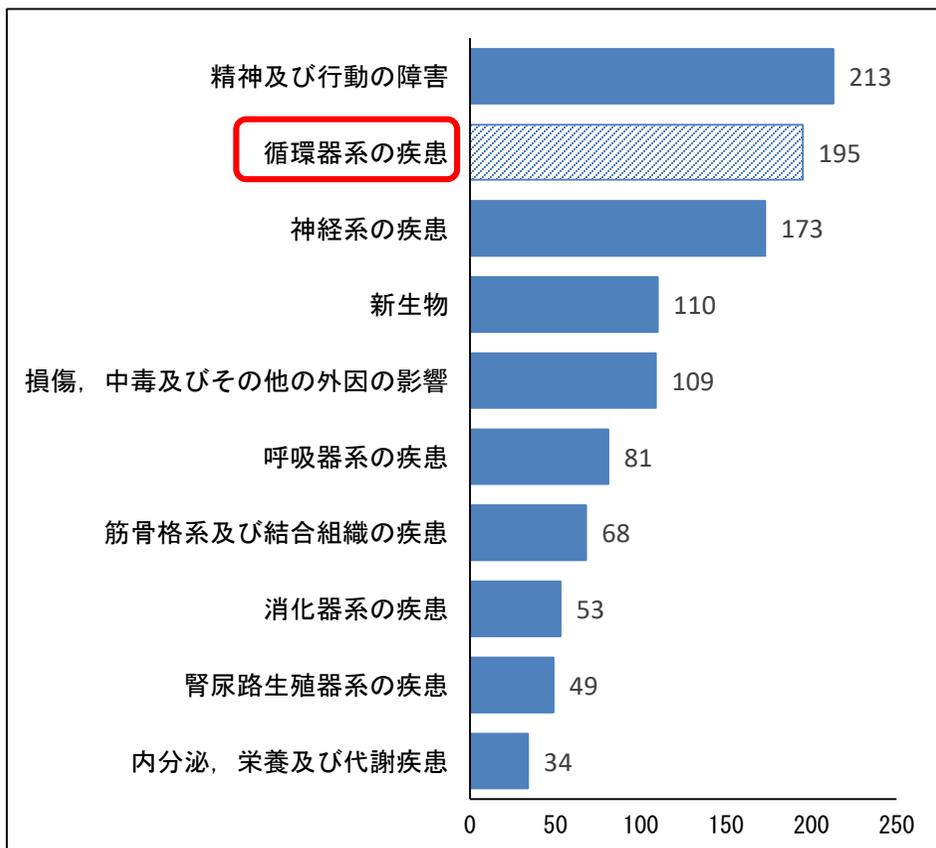
- 心疾患の死亡率（人口10万対）は年々増加している。
- 女性の心不全による死亡率の増加が顕著で、全国を上回っている。



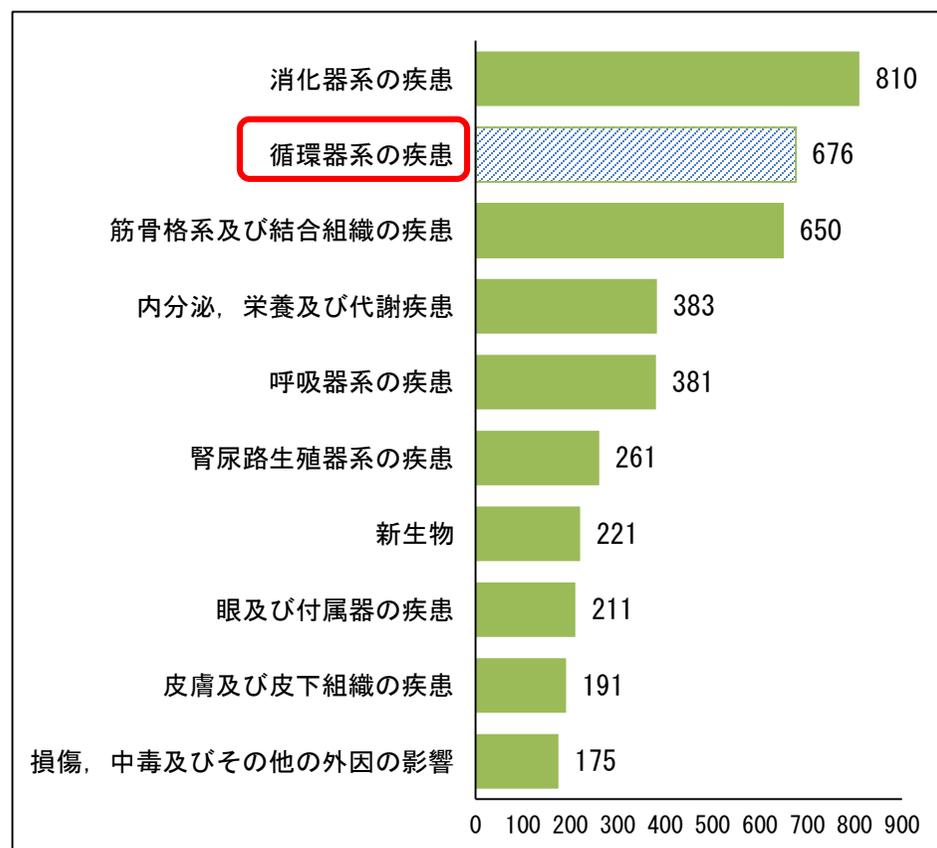
富山県の入院受療率・入院外受療率

○本県の疾病別入院受療率では**精神および行動の障害に次いで、循環器系の疾患が多くなっている。**
入院外受療率では**消化器系の疾患に次いで循環器系の疾患が多くなっている。**

富山県の**入院**受療率（人口10万対）



富山県の**入院外**受療率（人口10万対）

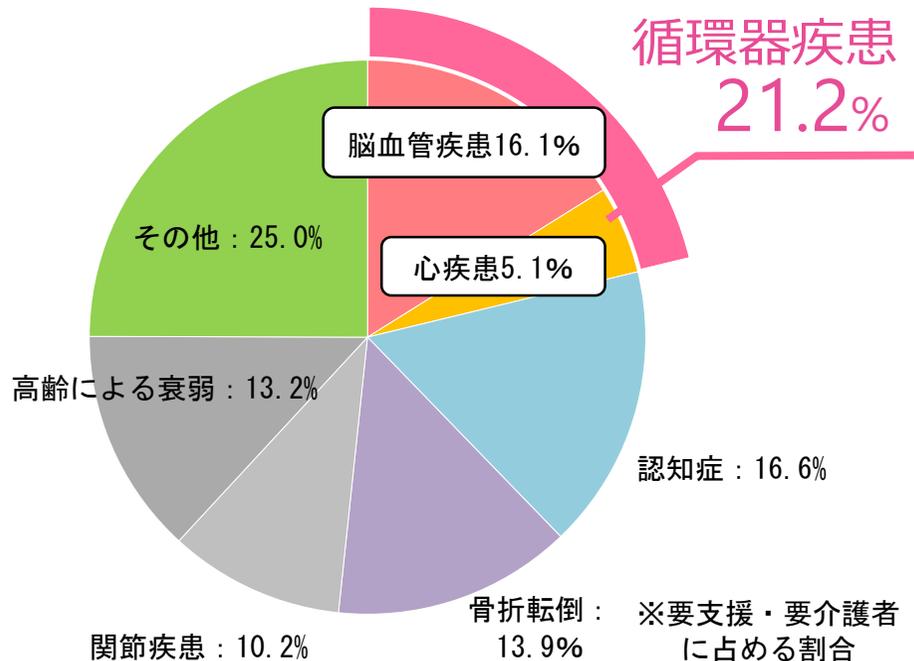


出典：令和5年患者調査（厚生労働省）

我が国の介護が必要になった主な原因

- 脳血管疾患が16.1%、心疾患が5.1%であり、両者を合わせた循環器病は21.2%と、介護が必要となった原因に占める割合は最多である。
- 介護度別にみると、脳血管疾患は、要介護1～3において原因の第2位、要介護4・5においては原因の第1位となっている。

介護が必要になった主な原因



<その他の内訳>

パーキンソン病：3.5% 糖尿病：2.9% 悪性新生物：2.7%
 脊髄損傷：2.2% 呼吸器疾患：2.0%
 視覚・聴覚障害：1.1% その他：7.1% わからない：1.3%
 不詳：2.1%

要介護度別にみた介護が必要になった主な原因(上位3位)

(単位:%) 2022(令和4)年

現在の要介護度	第1位	第2位	第3位
総数	認知症 16.6	脳血管疾患(脳卒中) 16.1	骨折・転倒 13.9
要支援者	関節疾患 19.3	高齢による衰弱 17.4	骨折・転倒 16.1
要支援1	高齢による衰弱 19.5	関節疾患 18.7	骨折・転倒 12.2
要支援2	関節疾患 19.8	骨折・転倒 19.6	高齢による衰弱 15.5
要介護者	認知症 23.6	脳血管疾患(脳卒中) 19.0	骨折・転倒 13.0
要介護1	認知症 26.4	脳血管疾患(脳卒中) 14.5	骨折・転倒 13.1
要介護2	認知症 23.6	脳血管疾患(脳卒中) 17.5	骨折・転倒 11.0
要介護3	認知症 25.3	脳血管疾患(脳卒中) 19.6	骨折・転倒 12.8
要介護4	脳血管疾患(脳卒中) 28.0	骨折・転倒 18.7	認知症 14.4
要介護5	脳血管疾患(脳卒中) 26.3	認知症 23.1	骨折・転倒 11.3

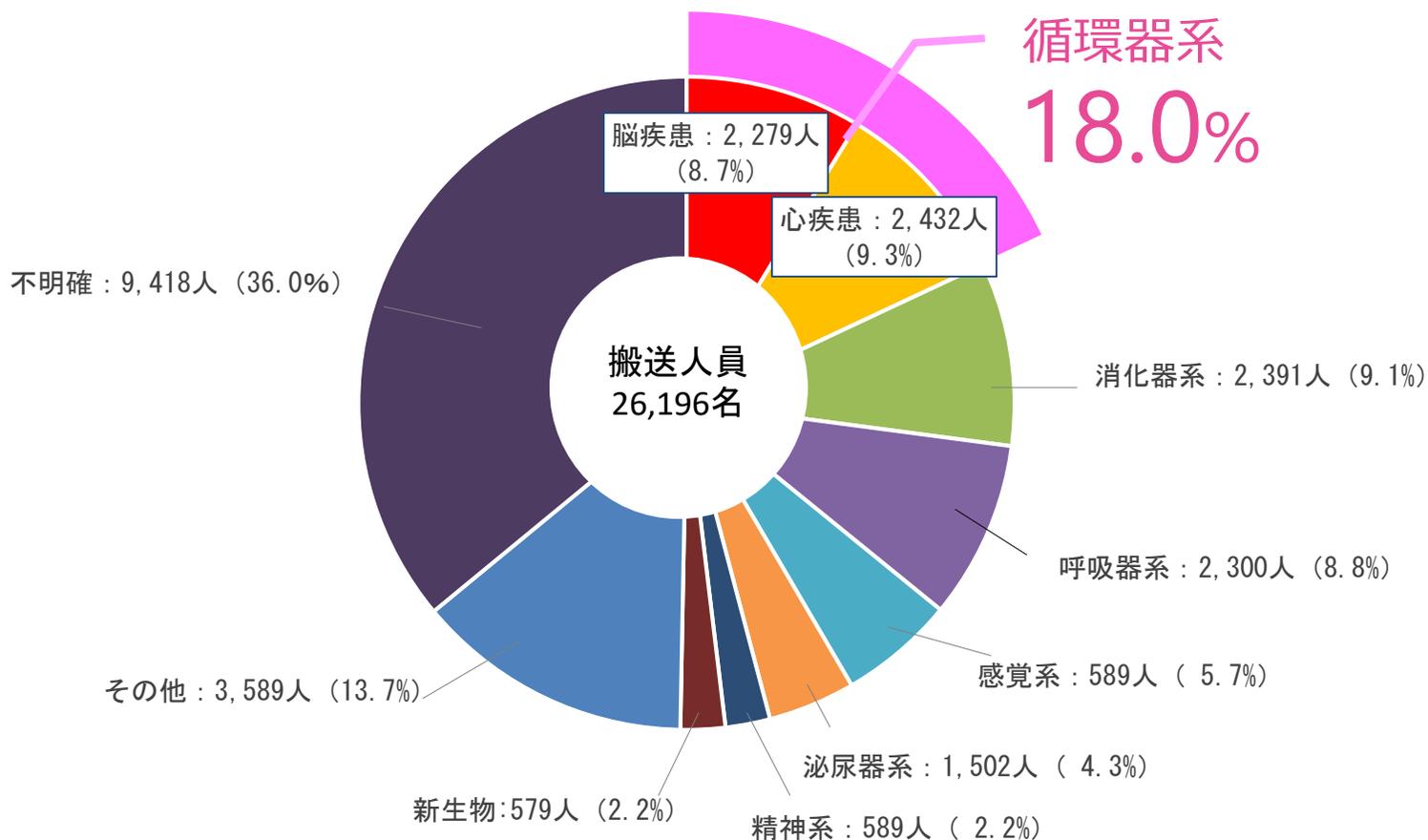
注：「現在の要介護度」とは、2022(令和4)年6月の要介護度をいう。

出典：R4 国民生活基礎調査（厚生労働省）

富山県の急病にかかる疾病分類別搬送人員

○脳疾患が8.7%、心疾患が9.3%であり、両者を合わせた循環器系は18.0%と、急病にかかる搬送に占める割合は最多である。

急病にかかる疾病分類別搬送人員(令和3年)



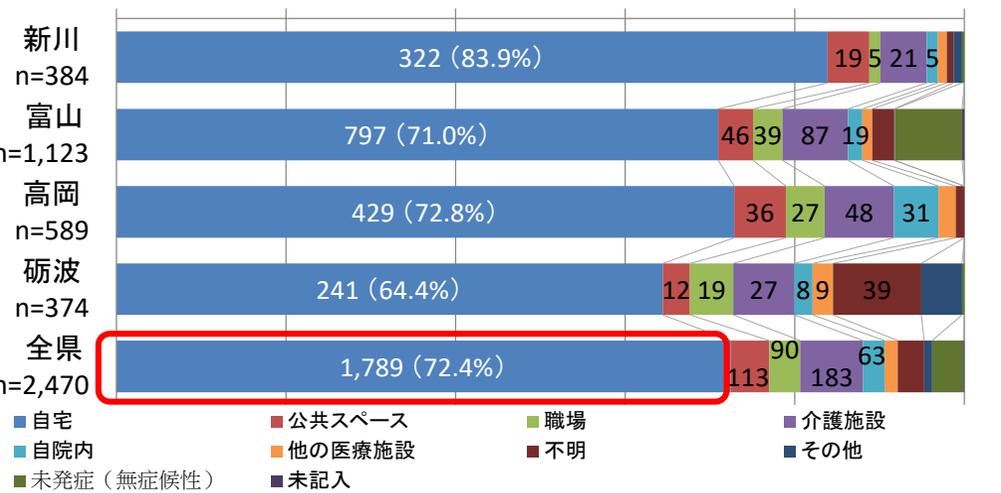
富山県の脳血管疾患患者の発症場所及び来院方法

○脳血管疾患の発症場所は、**自宅が72.4%と最も多い。**

○発症後の来院方法は、**救急車での来院が59.2%と最も多く、次いで介助来院が25.4%となっている。**

発症場所

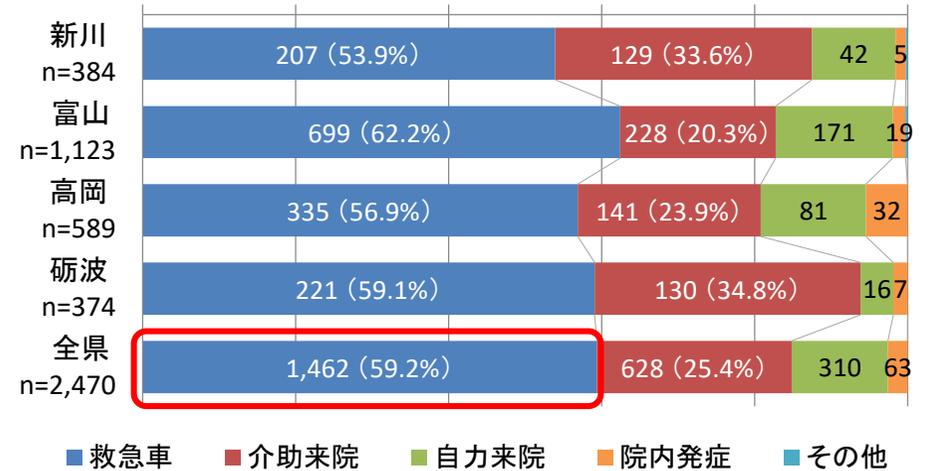
0% 20% 40% 60% 80% 100%



	新川	富山	高岡	砺波	全県
自宅	322	797	429	241	1,789
公共スペース	19	46	36	12	113
職場	5	39	27	19	90
介護施設	21	87	48	27	183
自院内	5	19	31	8	63
他の医療施設	4	13	12	9	38
不明	3	29	6	39	77
その他	4	1	0	18	23
未発症(無症候性)	1	89	0	1	91
未記入	0	3	0	0	3 (人)

来院方法

0% 20% 40% 60% 80% 100%

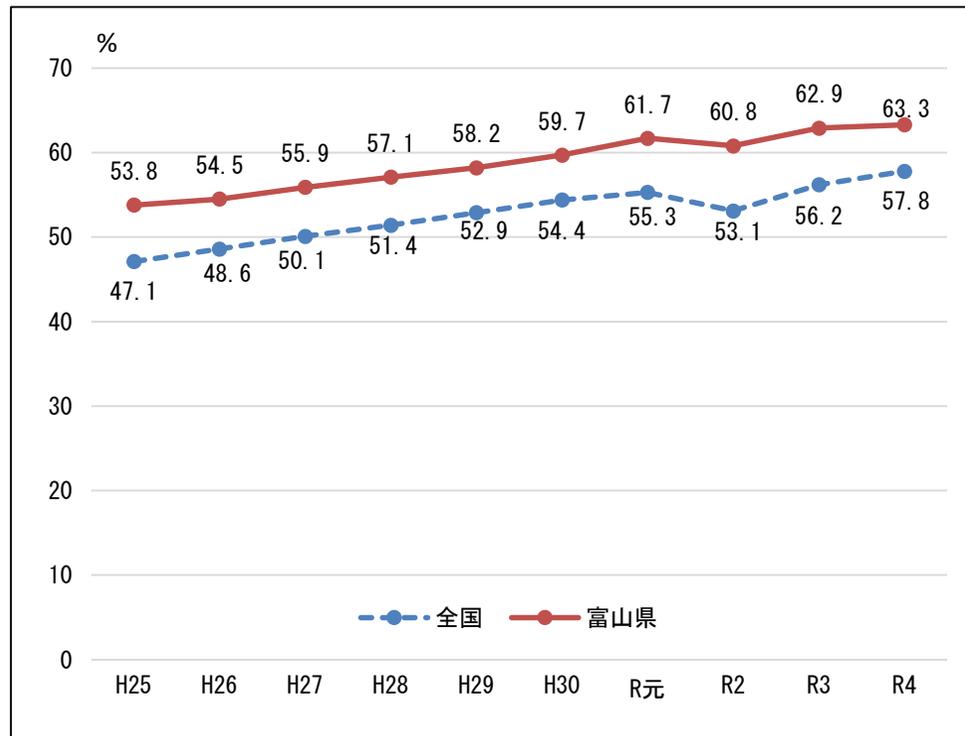


	新川	富山	高岡	砺波	全県
救急車	207	699	335	221	1,462
介助来院	129	228	141	130	628
自力来院	42	171	81	16	310
院内発症	5	19	32	7	63
その他	1	3	0	0	4
未記入	0	3	0	0	3 (人)

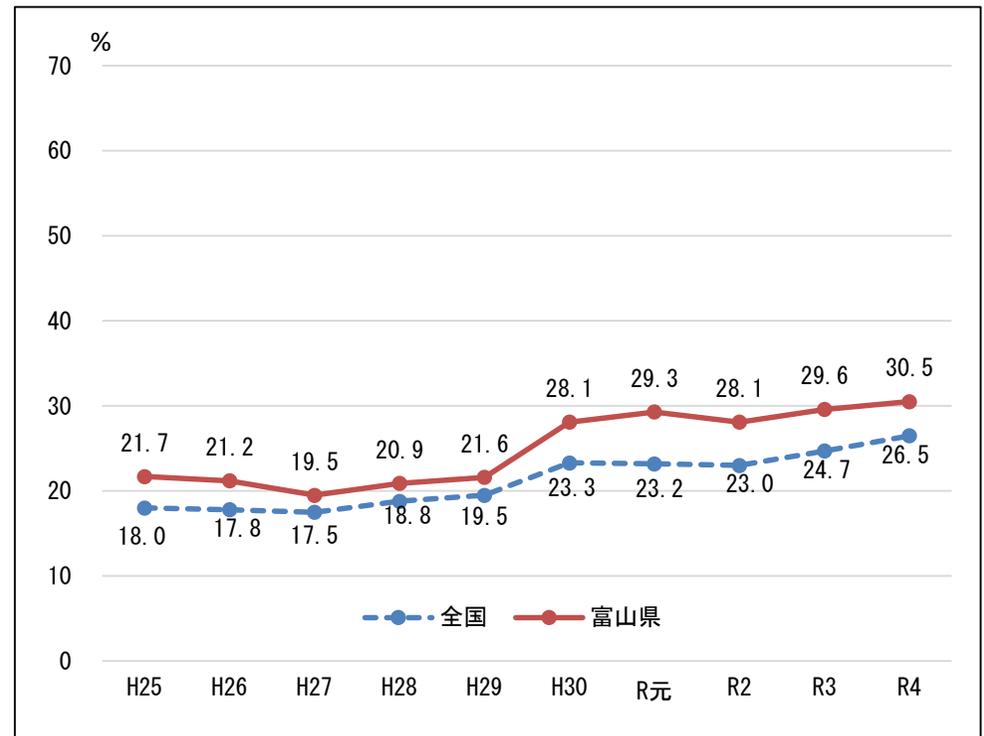
富山県の特定健診・特定保健指導の状況

- 本県の特定健康診査受診率は上昇しており、令和4年度は63.3%と全国より高い。
- 本県の特定保健指導実施率は上昇しており、令和4年度は30.5%と全国より高い。

特定健康診査受診率



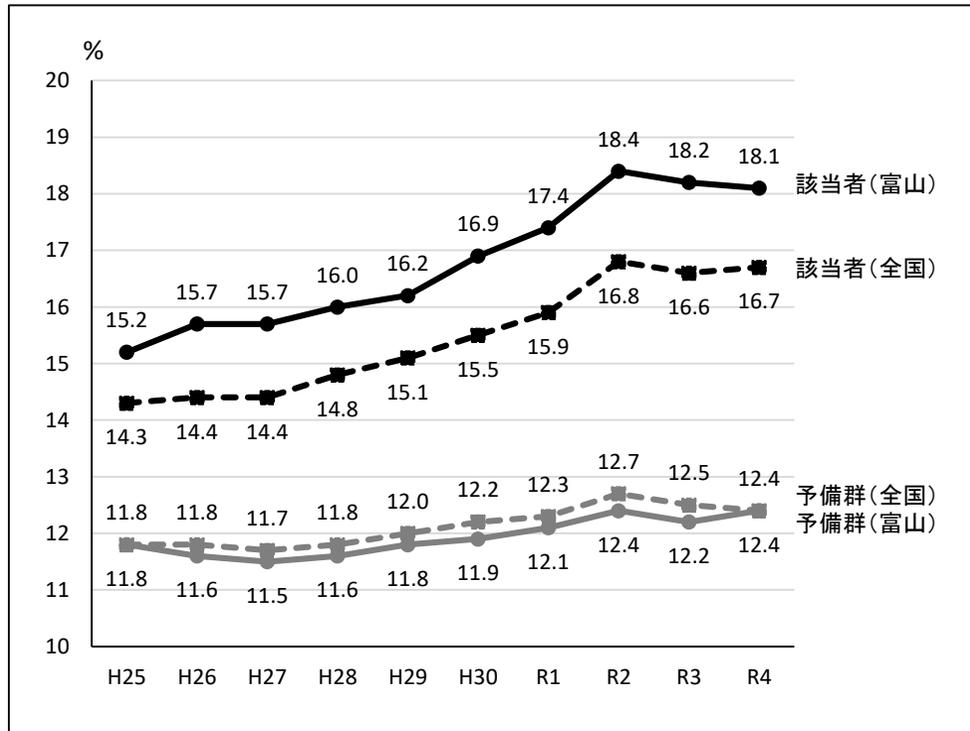
特定保健指導実施率



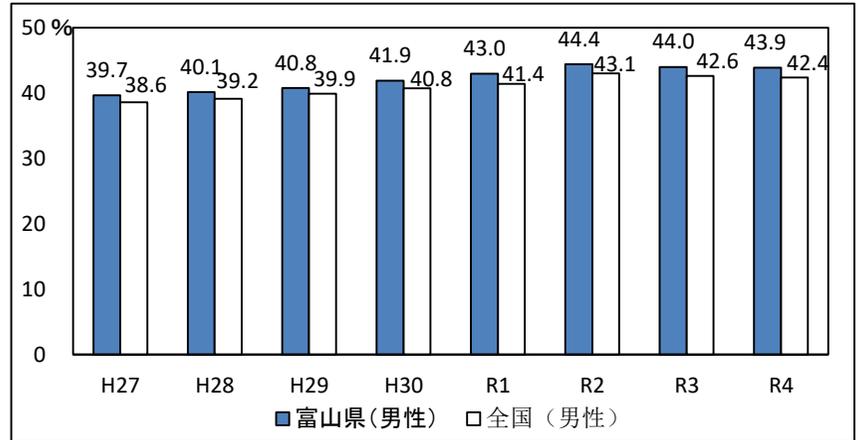
富山県のメタボリックシンドロームの状況

- メタボリックシンドロームの該当者の割合は、令和4年度18.1%で、**全国より高く推移**している。
- メタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合は、男女ともに全国より高くなっている。

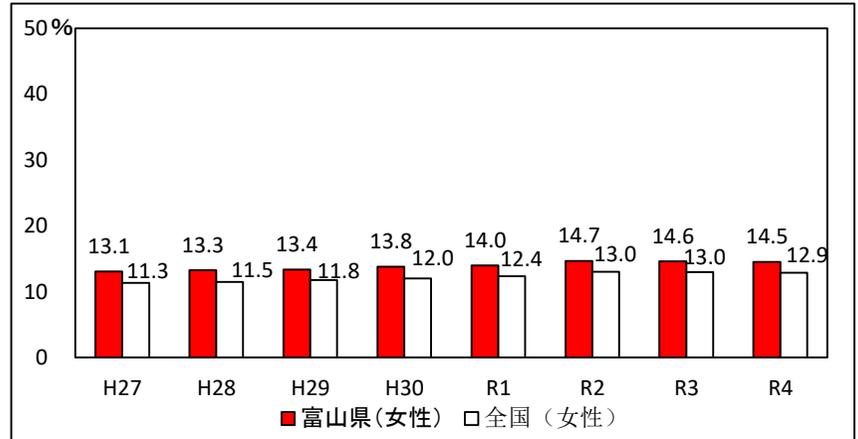
メタボリックシンドロームの該当者割合及び予備群割合の推移



メタボリックシンドローム該当者・予備群者の割合（男性）



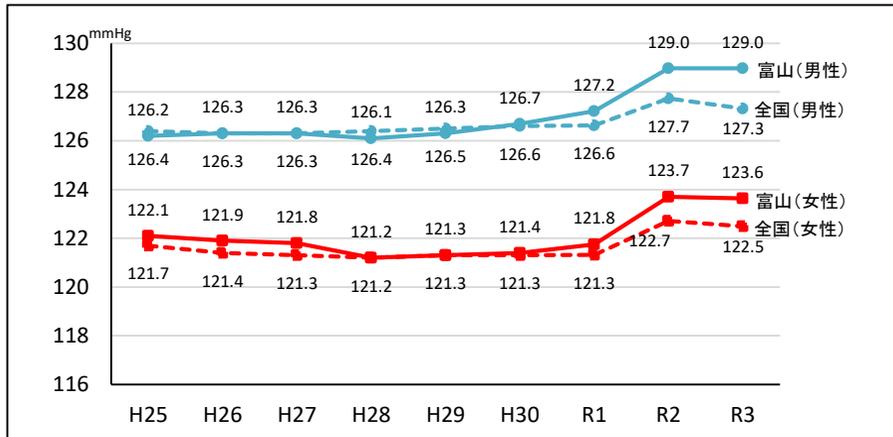
メタボリックシンドローム該当者・予備群者の割合（女性）



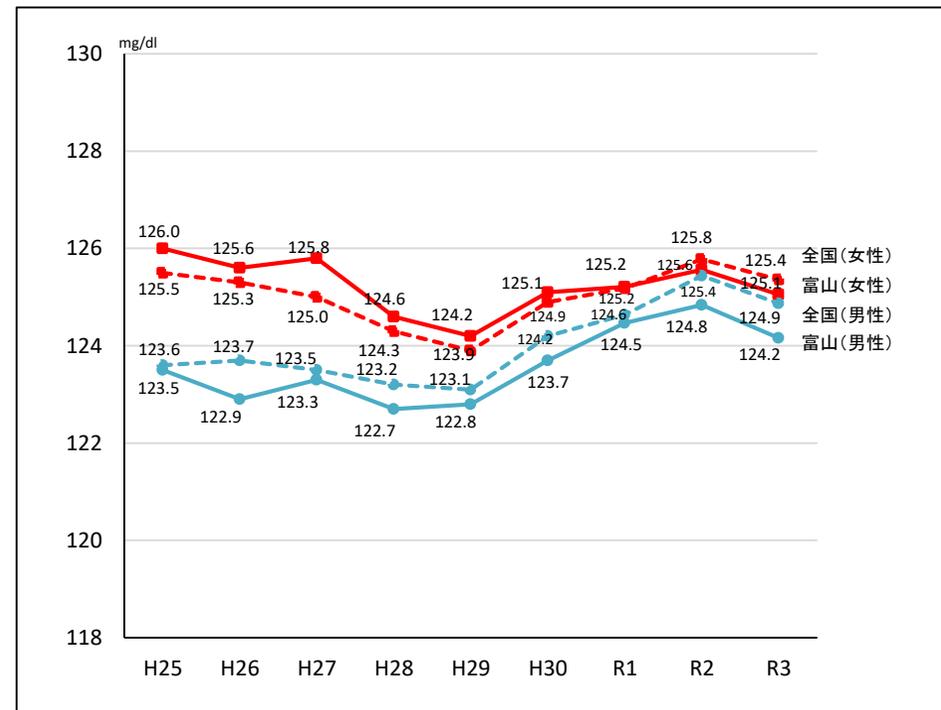
富山県の高血圧・高血糖・脂質異常の状況

- 40～74歳の収縮期血圧の平均値(R3)は男性129.0mmHg、女性123.6mmHgでやや上昇傾向。
- 40～74歳の高血糖状態(HbA1c6.5%以上)の者の割合(R3)では、男性10.6%、女性5.2%となっており、その推移は男女ともに横ばいである。
- 40～74歳のLDLコレステロールの平均値(R3)では、男性124.2mg/dl、女性125.1mg/dlであり、男性はやや上昇傾向、女性はやや下降傾向にある。

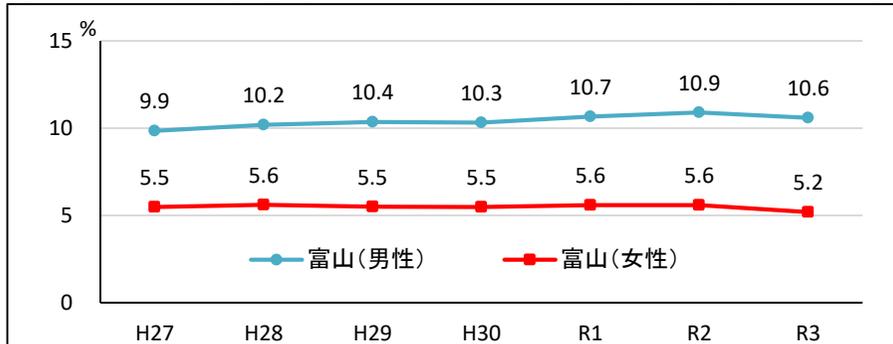
【収縮期血圧値の平均値の推移(40～74歳)】



【LDLコレステロール平均値の推移(40～74歳)】



【富山県の高血糖状態(HbA1c6.5%以上)の者の割合の推移(40～74歳)】



出典：NDBオープンデータ 特定健診情報（厚生労働省）

循環器病に関する 富山県の主な取組みについて (令和5年度実績及び令和6年度新規事業)

1 循環器病の予防や正しい知識の普及

循環器病の発症予防のための健康的な生活習慣づくりや危険因子に関する普及啓発を実施。

○おうちでこっそり減塩キャンペーン

県民の塩分摂取量の減少に向け、県民向けの啓発セミナーや体験会、減塩の必要性に係る普及啓発を実施

■調味料メーカー直伝減塩セミナー

- ・開催日 令和5年9月2日（土）
- ・場所 アルビス大島店
- ・参加者 だしコース22名、しょうゆコース22名

■家族にこっそり おうちで体験会

セミナー参加者に自宅で実践してもらい家族の反応を調査

- ・期間：令和5年9月3日（日）～9月16日（土）

■減塩フェア

- ①アルビス県内全店（POP等掲示） 期間：令和5年11月8日～11月21日
- ②大阪屋ショップ県内全店（POP等掲示） 期間：令和6年3月4日～3月29日
- ③県特設Webサイト「とやま健康ラボ」内でのコラム掲載



○野菜をもう一皿！食べようキャンペーン

「野菜の日」（8月31日）を契機として、家庭における野菜摂取の目標（1日350g）の達成を目指し、県内のスーパーや八百屋、コンビニエンスストアと連携して、野菜摂取促進の普及・啓発を実施

- ・期間 令和5年8月31日（木）～9月30日（土）
- ・協力店舗数 635店舗



○働き盛りの健康づくり支援(健康ポイント)事業

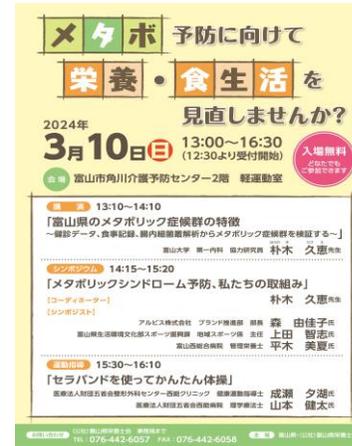
主に働き盛りの健康づくりを支援するため、県公式スマートフォン歩数計アプリ「元気とやま かがやきウォーク」を活用した健康ポイント事業を実施し、楽しみながら継続して健康づくりに取り組む環境を整備
 ※累計ダウンロード数 29,130件 (R6年3月末時点)

○メタボ予防に向けた栄養・食生活改善の普及啓発

メタボ予防に向けた県民の栄養・食生活改善の取組みについて共有し、産官学、管理栄養士・栄養士がそれぞれの専門性を活かした対策について考えるシンポジウムを開催

■メタボ予防に向けて栄養・食生活を見直しませんか？

- ・開催日 令和6年3月10日(日)
- ・場所 富山県総合福祉会館 福祉ホール
- ・参加者 77名



発症時に適切な治療を行うことで、後遺症を含めた予後の改善につながるため、発症後早期の対応やその必要性に関する啓発を推進

○循環器病県民公開講座の開催

■「脳卒中と心臓病の予防～ヘルスリテラシーを向上させて健診データの意味を知ろう～」

- ・開催日 令和6年3月16日(土)
- ・場所 富山県民共生センターサンフォルテ
- ・参加者 会場181名
- ・YouTube富山県公式チャンネルにて講演会内容を公開
視聴回数364回



2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

(1) 循環器病を予防する健診の普及

特定健康診査・特定保健指導、歯周疾患検診等の保健事業について各医療保険者、市町村における取組み、地域課題・データの把握と円滑な実施に向けた支援を行うとともに、特定健康診査・特定保健指導の理解の促進など県民への啓発を推進。

○PFSを活用した特定健診受診勧奨モデル事業

民間事業者の創意・工夫を取り入れたより効果的な特定健診受診勧奨の手法を探るため、PFSを活用し、モデル市町においてレセプト分析による対象者の特性に応じた通知勧奨等を実施(実施期間:令和5年度～令和7年度)

○ナッジ理論を活用した特定健診受診率向上事業

ナッジ理論を活用した特定健診・保健指導等の効果的な勧奨手法について県内市町村への普及を図るため、研修会及び市町村個別相談会を開催(研修会 1回、市町村個別相談会 8市町)

○保健事業の推進・人材育成支援事業

市町村職員を対象に、対象者の特性に応じた保健指導の実施にかかる資質向上を図るため、研修会を開催(2回)

○特定健診データを活用したリスク因子状況分析

市町村国保・協会けんぽの健診データからリスク因子を分析し、健康課題を把握

○地域・職域連携推進事業

地域保健・職域保健が連携し、健康課題の明確化や協働した健康づくりの取組みの調整及び推進を図るための協議会を設置

(2) 救急搬送体制の整備と救急医療体制の確保

循環器病発症後、迅速に適切な治療が行えるよう救急搬送体制の充実を図るとともに、救急車の適正利用と循環器病の症状が疑われる場合の速やかな救急搬送要請に向けた県民への普及啓発を実施。

○救急業務高度化推進協議会の開催

救急搬送の実施基準を検討するための会議を開催

○救急受診ハンドブックを活用した普及啓発

○救急救命士病院実習受入促進事業補助金

医療機関が救急救命士に対して行う心肺蘇生等の救急救命処置実習を支援

○ドクターヘリの運航

救急患者の救命率向上や後遺症の軽減に資するため、ドクターヘリを運航

- ・令和5年度実績:要請534件、受諾494件
(前年度:要請650件、受諾605件)
- ・ランデブーポイント箇所数:614箇所(令和6年4月1日時点)

○医療提供体制設備整備事業

救急医療を担う医療機関が行う設備整備を支援



(3) 急性期から回復期、維持期の医療提供体制の構築

患者の状態に応じた良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供する医療体制の構築と、急性期、回復期、維持期における切れ目のない連携を促進

○かかりつけ医への心不全対応力向上研修の開催(富山県医師会委託)

かかりつけ医が心不全患者の在宅医療について理解を深めるための研修会を実施

内容:「ステージA/B 心不全をどのように管理するか」「心不全ステージC/Dの診療と課題」

出席者:61名(会場12名、WEB49名)

○循環器病支援者研修会の開催

(富山大学附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター委託)

内容:「富山県の高次機能障害のある方への支援～包括的な支援を目指して～」出席者51名

「心不全と当院の多職種連携について」「脳卒中・心臓病等総合支援センターの取り組み」

出席者111名

○富山県在宅医療支援センター運営事業(富山県医師会委託)

在宅医療に取り組む医師の参入促進、在宅医療に係る研修会の開催・相談対応、郡市医師会在宅医療支援センターの活動支援

・在宅医療スキルアップセミナー等研修会の開催 6回

(3) 急性期から回復期、維持期の医療提供体制の構築

○富山県訪問看護総合支援センター事業(富山県看護協会委託)

県内訪問看護ステーションの人材確保、質の向上、経営の安定化を図り、在宅療養者への訪問看護提供体制の安定化・機能強化を支援

- ・訪問看護キャリア支援セミナーの開催 2回
- ・小児医療対応力向上技術研修の開催 3日間
- ・アドバイザー派遣 4か所

○回復期機能病床確保事業

回復期リハビリテーション病床や地域包括ケア病床への転換を支援

活用病院数及び転換病床数

	R4		R5	
	回復期 リハ病床	地域包括 ケア病床	回復期 リハ病床	地域包括 ケア病床
活用病院数	1 病院	2 病院	2 病院	0 病院
転換病床数	50床	50床	53床	0床

○医療勤務環境改善・キャリア支援事業

○とやま地域医療連携ネットワーク推進事業

大学病院、医療機関等と連携し、医師不足に直面する県内医療機関を支援

(4) リハビリテーションの体制整備

急性期からの速やかなリハビリテーションの提供と、急性期、回復期、維持期に応じた切れ目のないリハビリテーションの提供を推進

○富山県リハビリテーション支援センターの運営

関係者研修会や連絡会の開催、調査・分析を実施し県全体のリハビリテーション支援体制を推進

【研修会】

「災害リハビリテーション」出席者66名

「働きたいをつなぐー医療、介護、障害の連携ー」出席者67名

【脳卒中情報システム回復期分析】

対象：県内の回復期リハビリテーション病棟を有する8医療機関

R元年～R3年度患者分析結果【対象：2,821名】

発症から回復期病棟入院までの日数	29.7日(全国38.1日)			
回復期病棟在院日数(平均)	71.9日(全国81.6日)			
入院時FIM別にみたFIM利得(運動)	入院時平均点数・改善度が全国同等			
	入院時FIM	入院時【全国】	退院時【全国】	改善値【全国】
	53点以上	68.0【66.3】	84.8【83.8】	16.8【17.5】
	27～52点	39.1【39.8】	68.7【68.4】	29.6【28.6】
26点以下	17.5【16.9】	34.6【32.9】	17.1【16.0】	
在宅復帰率(自宅、居宅系介護施設)	80.2%(全国72.5%)			



【病院・在宅連携実態調査】

医療機関と介護支援専門員の連携状況等について調査

■退院調整実施率

H26	R5
76.7%	90.0%

※全国値は回復期リハビリテーション病棟協会「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」より抜粋

(4) リハビリテーションの体制整備

○地域リハビリテーション広域支援センターの運営

医療圏ごとに地域リハビリに関する普及啓発やリハビリ実施機関への支援を実施

【主な研修会開催状況】計22回、出席者計1,019名

- ・「心不全とは－在宅で生活を続けていくための治療と管理－」
- ・「ハイリスクアプローチとリハビリテーション専門職の関わりについて」

○地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンターの運営

介護予防事業等へリハビリ専門職を派遣し、自立支援に資する取組みを促進

【市町村介護予防事業等へのリハビリ専門職派遣実績(件数)】

区分	地域ケア会議	介護予防教室	通いの場	研修会講師	その他	計
令和2年度	76	76	29	3	23	207
令和3年度	86	65	89	17	20	277
令和4年度	89	64	177	15	10	355
令和5年度	91	38	112	29	11	281

(5) 循環器病の後遺症を有する者に対する支援

発症後様々な後遺症を残す可能性があることから、後遺症等に関する理解を深める普及啓発に努めるとともに、機関との連携体制を整備し、高次脳機能障害者やその家族等への総合的な支援を行う。

○高次脳機能障害支援普及事業(再掲)

○富山県リハビリテーション支援センター、地域リハビリテーション広域支援センター、地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンターの運営(再掲)

(6) 循環器病と緩和ケア

循環器病の中でも心不全は、すべての心疾患に共通した終末的な病態であり、高齢化に伴い患者も増加していることから、患者と家族のQOL向上を図るため、医師等の医療従事者や県民等に対して研修会を開催

○かかりつけ医への心不全対応力向上研修の開催(再掲)

○循環器病県民公開講座の開催(再掲)

(7) 治療と仕事の両立支援・就労支援

治療と仕事の両立や復職・就労について、患者・家族の悩み等の把握に努めるとともに、医療機関や労働局、富山産業保健総合支援センター等の関係機関と連携し、それぞれの課題・悩みに応じた情報提供・相談支援ができる体制の整備を推進

○富山県地域両立支援推進チーム会議による情報共有

(8) 小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策

学校健診等の機会における循環器病患者の早期発見の推進と、循環器病患者の小児期から成人期にかけて切れ目のない支援体制の整備と療養生活に関する相談支援と児童の自立支援を推進

○小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性疾病児童等自立支援員等による療養相談・訪問指導等の支援を実施

○学校心臓検診の実施

既往歴のある児童生徒や、検診により心疾患が発見された児童生徒へ学校管理指導表に基づき、適切な保健管理と保健指導を実施

○心臓病の子どものためのハイブリッド講演会（富山県心臓病の子どもを守る会と共催）

開催日 令和5年10月22日（日）13：30～15：00

内 容 「先天性心疾患と精神運動発達」「発達が気になる子どもたちの理解と具体的な支援」

参加者 43名（会場19名、オンライン24名）

(9) 相談支援及び情報提供

患者やその家族の個別ニーズに対して関係者が連携・協力し、適切かつ継続的な相談支援体制の構築と相談支援の充実を図る。

○高次脳機能障害支援普及事業

県高次脳機能障害支援センターを設置し、障害者等への相談支援や普及啓発等を実施

【R5年度相談実績：延1,362件】

○障害者就業・生活支援センター事業

障害者の就労や生活に関する相談支援等を実施

【R5年度利用登録者数2,215人】

○富山大学附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター



3 循環器病の調査・研究推進

(1) 診療データの収集・分析

国が進めている循環器病に係る診療情報の収集・活用の公的な枠組みの構築状況を注視

(2) 本県の特徴を踏まえた研究推進

富山県脳卒中情報システムや急性心筋梗塞の診療情報等を収集し、発症や診療、連携状況の分析²⁷及び評価を実施

循環器病に関する富山県の主な取組み(令和6年度新規事業)

○脳・心臓病対策推進事業

(1) 脳卒中・心臓病市民公開講座

循環器病の正しい知識を普及啓発するための市民公開講座を県内医療機関と開催

- ・富山県立中央病院（12月8日開催）
- ・富山県済生会富山病院（2月23日開催）



(2) 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

- ・支援者が患者・家族への相談支援を効果的に行うための資材の作成
(富山大学附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター委託)

○ICTを活用した脳卒中等医療情報ネットワーク整備事業

脳卒中患者の発症から治療に要する時間を短縮するため、県内の脳卒中急性期医療機関をネットワークで結ぶ「医療情報共有ツール」の導入を支援

導入病院数：11病院

